

W46c

## JASMINE で遂行中の国際連携

辻本拓司、郷田直輝、小林行泰、矢野太平、丹羽佳人、井上茂樹、宇都宮 真、鹿島伸悟、亀谷 収、中島 紀(国立天文台)、山田良透、藤田 翔(京大理)、原 拓自、田川寛通(東大理)、吉岡諭(東京海洋大)、穂積俊輔(滋賀大)、梅村雅之(筑波大)、西 亮一(新潟大)、浅田秀樹(弘前大)、長島雅裕(長崎大)、對木淳夫、野田篤司、歌島昌由(SE 推進室/JAXA)、安田 進、佐藤洋一、小柳 潤(DE 部門/JAXA)、中須賀真一(東大工)、酒匂信匡(信州大)、ほか JASMINE ワーキンググループ同

JASMINE では得ることのできない視線速度および化学組成に関する情報を取得するため、現在精力的に国際協力を進めている。その柱となるのが、BRAVA(a large scale radial velocity survey of the Galactic bulge/bar population) の PI である UCLA の M. Rich およびオーストラリア国立大学の K. Freeman が押し進める ARGOS project (a large chemical composition survey of the Galactic bulge)、そして、PI がヴァージニア大学の S. Majewski である APOGEE project との国際連携である。APOGEE では昨年度から 2014 年にわたり、H バンドで 12.5 等級より明るいおよそ 10 万個の星について化学組成の高分散観測を遂行中である。バルジ星として約 7 千個が含まれる予定であるが、さらなる JASMINE とのシナジーを考え、APOGEE チームとは APOGEE の継続的發展として、バルジ観測に適した南天の望遠鏡に APOGEE と同じ高分散分光器を取り付け、バルジ観測を行う APOGEE-III 計画を共同でプロポーザルを出すことが提案され昨年度の秋に提出を終えた。JASMINE はこれら 3 つの国際プロジェクトと共同体制を敷き、科学目標の実現を目指している。